http://www.edu.pref.kagoshima.jp/　（通巻第２１１１号）

指導資料　国語　第 160 号

鹿児島県総合教育センター
令和４年４月発行

対象校種　高等学校　特別支援学校

生徒が主体的に取り組むために有用性をもつ国語科の授業
―単元の振り返りに着目した授業実践例を通して―

生徒が主体的に国語科の学習に取り組むためには，授業で「〇〇が分かるようになった。」，「〇〇ができるようになった。」，「次は〇〇を学んでみたい。」と思えるように，授業に有用性の視点をもつことが大切である。学習課題の設定（指導資料 国語第 150 号），学習過程の把握（指導資料 国語第 153 号）に続き，本稿は単元の振り返りに着目した教師の手立てについて授業実践例を通して述べる。

１　学びの価値を見いだす「有用性」の視点

教科教育研修課では，生徒に「学びに向かう力」を涵養するための四つの視点として「必要性」，「自律性」，「関係性」，「有用性」が大切であると提案してきた（指導資料 学習指導第 1 号）。四つの視点の中でも「有用性」とは「学習に意味を見いだし，自分の資質・能力に自信がもてる視点」[1] である。生徒が学習に意味を見いだし，学びの価値を実感することができれば，主体的に国語科の授業に取り組むことができる。生徒が授業に有用性をもち，学ぶ価値を実感できるようにするために次のような生徒の姿を目標とする。

(1)　学習の見通しをもつ
(2)　自分の学習を自己調整できる
(3)　自己の変容を実感できる
(4)　単元の学習につながりを感じ，次の目標を自分で立てることができる

このような生徒の姿を目指した教師における手立てについて実践例を用いて紹介する。

２　有用性をもたせるための手立て

(1)　学習の見通しをもたせる

生徒が主体的に学習に取り組むためには，「この単元で〇〇の力を身に付けたい。」，「この単元で〇〇ができるようになりたい。」という学習の見通しを生徒自身がもち，授業に臨むことが必要である。

資料１　生徒に示す学びのプラン

☆学びのプラン☆

2年（　　）組（　　）番　氏名（　　）

1　単元名　「葉桜と魔笛」太宰治

2　身に付けてほしい力
［知識・技能］
回想・独白からなる物語世界の構造を理解する力。
［思考・判断・表現］
各登場人物の感じ方や考え方を，**本文に即して読み味わう力**。
［主体的に学習に取り組む態度］
各登場人物の感じ方や考え方を，**本文に即して解釈し，読み味わおう**としたりしている。

3　この単元で学習すること

次	時	みんなに付けてほしい力	学習の内容
第一次	1 2 3	回想・独白からなる物語世界の構造を理解する力	①　この単元で何を学んでいくかを確認しよう。 ②　太宰治について知ろう。 ③　「葉桜と魔笛」の時代について知ろう。 ④　話の内容をつかもう。（ワークシート・教科書準拠の学習プリント） ⑤　もっと考えたいところ，疑問に思ったところ，感想を記入しよう。
第二次	4 5 6 7 8	各登場人物の感じ方や考え方を，**本文に即して読み味わう力**	⑥　軍艦マーチが聞こえた日の父または妹の思いを，**本文に即して考え，表現してみよう。** （紙芝居，日記，絵，漫画，音楽，創作ダンスなど） ・本文のどの部分を根拠にして考えたのかなど，他の人と交流して考えを深める活動もします。
第三次	9	各登場人物の感じ方や考え方を，**本文に即して解釈し，読み味わおうとしたりする力**	⑦　発表する。 ⑧　発表を聞いて，気付いたことや新たに考えたことを記入する。

（指宿商業高等学校　伊藤理恵教諭の実践）

資料１は単元の導入で，教師が生徒に目的をもって授業に向き合わせるために示したものである。単元の第一次から第三次のそれぞれについて身に付けてほしい力と学習内容や言語活動を示し，学習の見通しをもたせて主体的に取り組めるようにしており，振り返りの際にも有効である。

資料２は毎時間生徒が振り返りを記入する「振り返りシート」に，身に付けてほしい力と学習の内容を示している。単元を通した自分の学びを常に言語化することで学びの価値を実感する機会も得やすくなる。

資料２　ゴールの目標が見える振り返り

伊高ナンバーワンへの道！　★身に付けてほしい力★

～『伊勢物語』筒井筒　振り返りシート～

1年（　）組（　）番

氏名（　　）

①古文に描かれた人物の心情を表現に即して読み取り，異なる立場から読み深めようとしている。（関心・意欲・態度）

②古文に描かれた人物の心情を表現に即して読み取り，異なる立場から読み深めている。（読む能力）

③古文を読むために必要な文語のきまりや語句の意味・用法を理解している。（知識・理解）

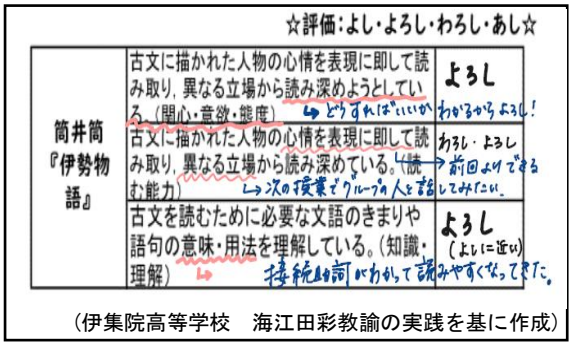
学習の内容	月・日	テーマ・目標	分かった！（得決）	なんでだろう？（疑問）	ここが大事！
【導入】	月　日				
【内容読解】① 特に助動詞や接続助詞に注意し，現代語訳を確認する。② 筒井筒の女と高安の女が詠んだ和歌によって，男の行動がそれぞれどう変化したか考える。③ 男，筒井筒の女，高安の女の人物像を整理してまとめる。	月　日				
	月　日				
	月　日				
	月　日				
	月　日				
	月　日				
【言語活動】①登場人物から一人を選び，選んだ人物を主人公にして現代語の物語を作成する。	月　日				
	月　日				
②作成した物語を発表し，互いに考えを深める。	月　日				

（伊集院高等学校　海江田彩教諭の実践）

(2)　自分の学びを自己調整させる

『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』（以下，参考資料）には，観点別学習評価の「主体的に学習に取り組む態度」の評価について，「知識及び技能を習得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりするために，自らの学習状況を把握し，学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価することが重要である」[2)] と示されている。したがって生徒が自らの学習を調整できるような教師の手立てが必要である。**資料２**のように，毎単位時間，振り返りをする際に「分かったこと」，「疑問に思ったこと」を生徒が記入できるようにすることにより，次時における目標が立てやすく，生徒自身が学習を自己調整するのに役立てられるようにしている。併せて，単元の途中で振り返りシートの中に**資料３**のようなチェック欄を数回設けることによって，生徒は単元で身に付けるべき力を再認識し，その力に到達するために次時の目標はどのような要素を取り入れるべきか明確にすることができるようになる。

資料３　振り返りシートに設けたチェック欄

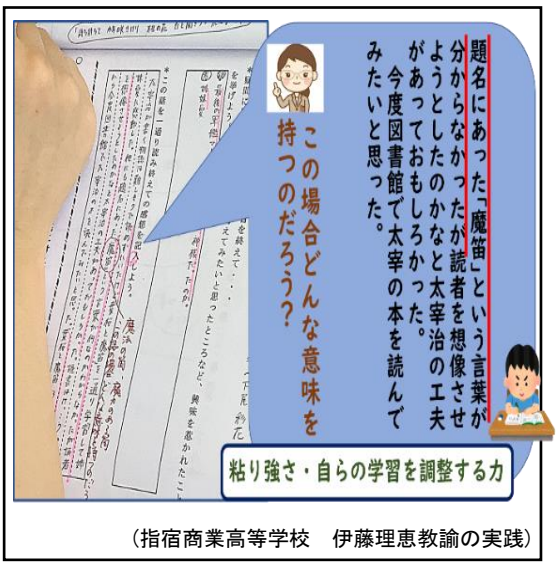

☆評価：よし・よろし・わろし・あし☆

筒井筒『伊勢物語』	古文に描かれた人物の心情を表現に即して読み取り，異なる立場から読み深めようとしている。（関心・意欲・態度）	よろし
	古文に描かれた人物の心情を表現に即して読み取り，異なる立場から読み深めている。（読む能力）	わろし・よろし
	古文を読むために必要な文語のきまりや語句の意味・用法を理解している。（知識・理解）	よろし（よしに近い）

（伊集院高等学校　海江田彩教諭の実践を基に作成）

また，**資料４**は小説の読みを深めるために，この時間までの学習で生徒が読み深めたことを言語化したものである。その際の生徒の言葉を手掛かりにして教師が問題提起をすることで，次時から作品を読み深める際に追究すべき観点を見いだすことができ，生徒が自己調整する手立てにつながる。

資料４　自己調整につながる教師の言葉掛け

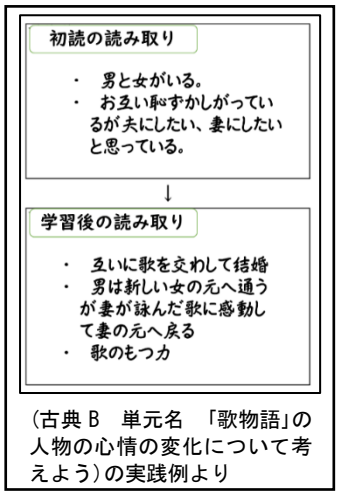


（指宿商業高等学校　伊藤理恵教諭の実践）

(3)　自己の変容を実感させる

生徒が自分の学習を振り返った際に，「○○の力が身に付いた。」，「○○ができるようになった」と実感できるのは，自分が言語化したものから「手応えの実感」を得るときである。例えば，**資料５**のように初読では，教材文を男女の恋愛とだけ読み取っていたが，単元の学習後には，「和歌」のやり取りによる男女の心情の機微を読み取れたという変容を「手応えの実感」として受け止められるようになり，内容読解の深まりを生徒自身が実感できるようになった。また，長めの文章を書いて文章化させたいときには，単なる感想にならないように，生徒が使う言葉を教師が必要に応じて視点として定める方法がある（**資料６**）。このような振り返りを幾度か重ねることにより，生徒は自己の変容を実感することができ，この単元で身に付けた力を振り返ることができる。

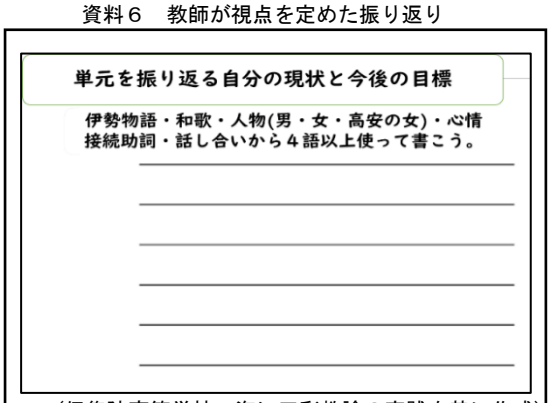
資料５　変容を実感させるためのワークシートの工夫



（古典Ｂ　単元名　「歌物語」の人物の心情の変化について考えよう）の実践例より

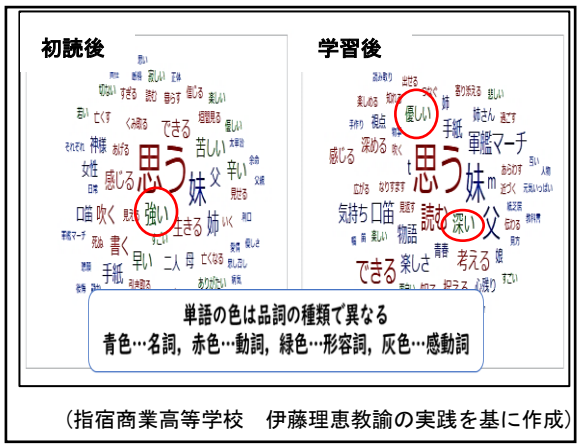
単元の学習前後の変容をクラス全員で共有し，そこから考えを深め，学びの価値付けをする際は，テキストマイニングツール等を活用するのも有効である。**資料７－１**は太宰治の『葉桜と魔笛』の初読後の感想（左部），単元学習後のクラス全員の感想（右部）の中で，出現頻度の高い言葉が強調されるように比較したテキストマイニングツールを使った実践である。二つの資料を比較すると，「思う」の出現回数がどちらも最多であるものの，初読の感想では登場人物を「強い」と捉えていた生徒が多かったのに対し，単元の学習後では「深い」，「優しい」という形容詞が多く出現していることが分かる。

資料６　教師が視点を定めた振り返り



（伊集院高等学校　海江田彩教諭の実践を基に作成）

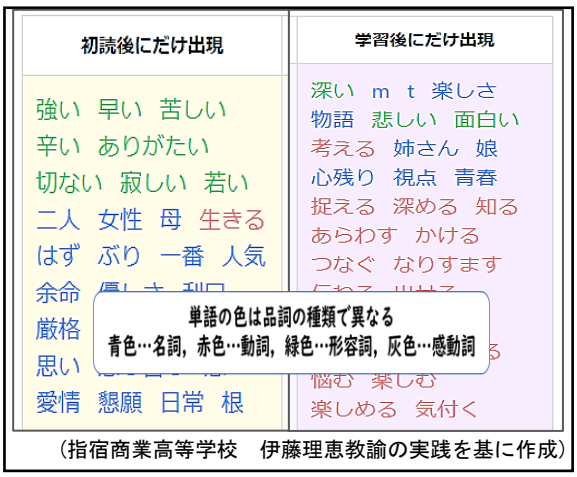
資料７－１　テキストマイニングツールによる生徒の振り返りにおける変化（出現回数が多いほど中央に寄り大きな字になる）



（指宿商業高等学校　伊藤理恵教諭の実践を基に作成）

資料７－２は，初読後の感想と単元の学習後の感想のそれぞれにだけ使われていた言葉の分析である。大型スクリーン等で共有しながら単元を振り返ることで，自分の考えにはなかった級友の考えから，自分の考えを広げたり深めたりすることができる。

資料　７－２　テキストマイニングツールによる生徒の振り返りにおける変化（単語分類，出現回数順）



（指宿商業高等学校　伊藤理恵教諭の実践を基に作成）

資料７－３は，文章中で頻出度数が高かった単語だけではなく，特徴的な単語に注目してテキストマイニングしたものである。教師が注目すべき考えにつながる言葉を拾い，全員で考えを深めるきっかけをつくることができる。この場合，「軍艦マーチ」が聞こえる場面を全員で振り返り，心情の変化を共有することができるようにしている。このように生徒の実態，授業の内容に合わせてテキストマイニングツールを活用することで，生徒は学びの価値をより強く実感できる。

資料７－３　テキストマイニングツールによる生徒の振り返りにおける変化（特徴的な単語に注目）

（指宿商業高等学校　伊藤理恵教諭の実践を基に作成）

(4)　単元の学習につながりを感じさせ，自分で次の目標を立てさせる

自分がこの単元で「どのような力を身に付けられたか。」ということを実感し，「次は○○を学びたい。」と思うことができれば国語科の学習に主体的に取り組む姿につながる。そのためには，教師が単元において身に付けさせたい資質・能力を意識し，生徒が効果的に学び，資質・能力の定着が図れるような単元計画を行う必要がある。

資料８は国立教育政策研究所が例示している年間指導計画表である。単元ごとにどの領域（「話すこと・聞くこと」，「書くこと」，「読むこと」）でどのような資質・能力を身に付けるかということが一覧できるようになっている。

年間指導計画表を作成する上で留意しなければならないことは，全てを年間指導計画どおりに実施しなければならないというわけではなく，年度途中であっても生徒の実態に応じて改善するなど柔軟な対応が求められる。そのため，教科部内での情報交換が常に必要であり，その情報が互いの授業を改善する視点にもなり得る。時には生徒と一緒に，学んできたことを想起しながら，次時で身に付ける力を考えることができれば，有用性をもつ生徒の姿が見られる。

資料８　年間指導計画表の例（B「書くこと」の一部を抜粋）

			No.	1	2	5	6
			単元名	□□□□	□□□□	□□□□	意見文を書こう
			指導事項・言語活動例				
			授業時数（合計 35 単位時間）	3	5	4	5
〔知識及び技能〕	(1)	ア	言葉には，認識や思考を支える働きがあることを理解すること。				
		イ	話し言葉と書き言葉の特徴や役割，表現の特色を踏まえ，正確さ，分かりやすさ，適切さ，敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し，使うこと。		◎		
		ウ	常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使うこと。				
		エ	実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに，語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにすること。			◎	
		オ	文，話，文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解すること。	◎			
		カ	比喩，例示，言い換えなどの修辞や，直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うこと。				
	(2)	ア	主張と論拠など情報と情報との関係について理解すること。	◎		○	
		イ	個別の情報と一般化された情報との関係について理解すること。		◎		
		ウ	推論の仕方を理解し使うこと。				
		エ	情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うこと。				◎
		オ	引用の仕方や出典の示し方，それらの必要性について理解を深め使うこと。			◎	
	(3)	ア	実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めること。				

（国立教育政策研究所　「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 p. 60）

３　生徒が主体的に取り組む姿を目指して

振り返りは生徒への支援の視点，教師の授業改善の視点という意味においても重要である。日々の授業に有用性の視点はあるか，まずは私たち教師が振り返り，生徒に国語を学ぶ価値を，そして楽しさを伝えていきたい。

－引用・参考文献－
1)　鹿児島県総合教育センター『研究紀要 125 号「未来の創り手に求められる資質・能力を育成する授業に関する研究Ⅱ」』令和２年
2)　国立教育政策研究所『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』令和３年８月
○　鹿児島県総合教育センター『指導資料　学習指導第１号』令和３年 10 月
○　AI テキストマイニング by ユーザーローカル https://textmining.userlocal.jp（令和４年２月 24 日閲覧）
○　文部科学省『高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説　国語編』平成 31 年，東洋館出版社
○　田村学『学習評価』令和３年，東洋館出版社
○　田村学・髙木展郎・樺山敏郎『教育科学　国語教育』令和３年７月，明治図書
○　髙木展郎編著『平成 30 年度版 学習指導要領改訂のポイント　高等学校国語』令和元年３月，明治図書

（教科教育研修課　梅本　かおり）